

行事名 竹林会議

日時 令和2年1月20日 晴れ 13:00~17:00

場所 千葉市 蘇我コミュニティセンター

内容 K-BETS 塩崎氏「K-BETS 活動状況」

竹もりの里鹿嶋氏「千葉県における竹林整備現状報告」

山田氏「ハウス栽培トマトの糖度改善状況」

FG21「群馬県の竹林の現状とその活用方法」

河野氏「奄美大島のクロマグロ養殖への竹炭提供の可能性」

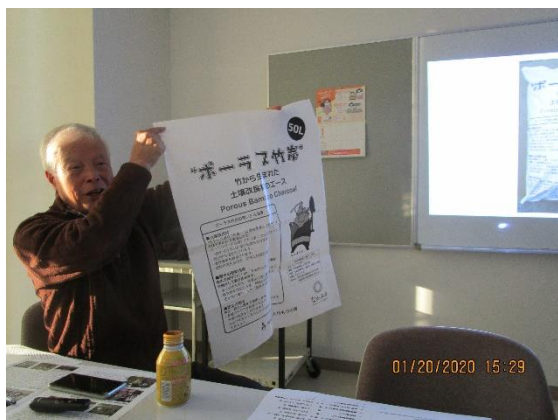
参加団体 K-BETS、竹もりの里、山田雅俊、FG21（菊川・西條）

コメント 最初に FG21「群馬県の竹林の現状とその活用方法」をパワーポイントでプレゼンテーションを行った。群馬県の知名度のなさから始め、上毛三山、利根川の特徴、本題である竹林の現状を説明する。林地構成比が 0.5%の竹林が社会問題化している。手入れを放棄して藪化している竹林の解決策として緑の県民税が有効なウエイトを占めている。

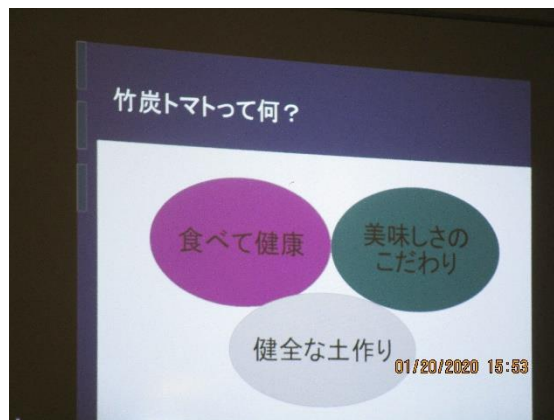
鹿嶋氏がポーラス竹炭の販売 60Kg 詰めの袋 5,000 円で販売を開始、竹集材用キャップの取り組みを紹介（明日見学予定）山田氏がポーラス竹炭によってトマトが連作できる。トマトの糖度が一段と向上してきたことを報告する。K-BETS メンバーである河野氏が奄美大島で近大が行っているクロマグロの養殖にポーラス竹炭が海水の改良に有効である旨説明する。午後の4時間があっという間に過ぎる。夜駅前懇親会をして絆を深める。

多目的ポーラス竹炭効能は下記の通りだ。竹林の手入れ、循環資材としての竹

土壌改良材・屋上緑化資材・水質改善・樹勢回復・公園の土壌環境改善剤・調湿資材・脱臭、消臭浄化・融雪剤・作物の放射能対策・食品添加物 etc がある。



50Kg ポーラス竹炭を入れる袋



ポーラス竹炭によるトマト



竹の集材用キャップ



大型の炭之助